

Princeton

FMラジオ搭載目覚まし機能付きスピーカー for iPod/iPhone PSP-BQシリーズ

i-BLOQ ユーザーズガイド

ご購入ありがとうございます。ご使用の際は、必ず以下の記載事項をお守りください。
・ご使用前に、必ず「安全上のご注意」「製品保証規定」をよくお読みいただき、内容を理解いただいた上でご使用ください。
・別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。
・本書は保証書と一緒に、大切に保管してください。

注意 本製品を小さいお子様の手の届く場所に放置しないでください。
本製品を、本書に記載されている以外の用途に使用しないでください。

本書について
本文中で特に明記しない場合を除き『iPod』および『iPhone』は、「対応iPod/iPhone機種」に記載のiPodおよびiPhoneを意味します。

同梱品

本製品のパッケージの内容は、次のとおりです。お買い上げのパッケージに次のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。

スピーカー	1	3.5mmステレオミニプラグケーブル	1
Dockアダプタ	9	ユーザーズガイド(本書)	1
ACアダプタ	1	保証書	1

仕様

スピーカー	スピーカーユニット 再生周波数帯域 実用最大出力	直径 50mm、防磁型 ネオジム磁石 200Hz~15,000Hz 2W (モノラル)
FMラジオ	受信周波数範囲	76.00MHz~90.00MHz
音声入力端子		3.5mmステレオミニジャック×1 Dockコネクタ×1
電源		DC 5V 1.2A
外形寸法		W90×D90×H90mm (突起物含まず)
質量		約340g

特長

- 目覚まし時計機能付き
- FMラジオ搭載
- iPod/iPhoneの充電が可能
- Universal Dock対応
- 3.5mmステレオミニジャックでiPod/iPhone以外のオーディオ機器とも接続可能

対応iPod/iPhone機種

iPhone 3GS 16GB 32GB	iPhone 3G 8GB 16GB
iPod nano 5th generation(video camera) 8GB 16GB	iPod touch 1st generation 8GB 16GB 32GB
iPod touch 2nd generation 8GB 16GB 32GB 64GB	iPod classic 80GB
iPod classic 120GB 160GB(2009)	iPod 5th generation(video) 30GB 60GB 80GB
iPod nano 4th generation(video) 8GB 16GB	iPod nano 3rd generation(video) 4GB 8GB
iPod classic 160GB(2007)	

ユーザー登録について

弊社ホームページにて、ユーザー登録ができます。

弊社ホームページ「ユーザー登録」
<http://www.princeton.co.jp/support/registration/top.html>

※ユーザー登録されたお客様には、弊社から新製品等の情報をお届けします。
※ユーザー登録後に、本製品を譲渡した場合には、ユーザー登録の変更はできませんので、ご了承ください。

安全上のご注意

本製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
本製品のご使用に際しては、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、必要なときすぐに参照できるように、本書を大切に保管しておいてください。
本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となることがあります。
注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生することがあります。

図記号の意味

- ⊘ 行為を禁止する記号 (⊘ の中や近くに禁止内容が描かれています。)
- ⓪ 行為を指示する記号 (● の中に指示内容が描かれています。)

警告

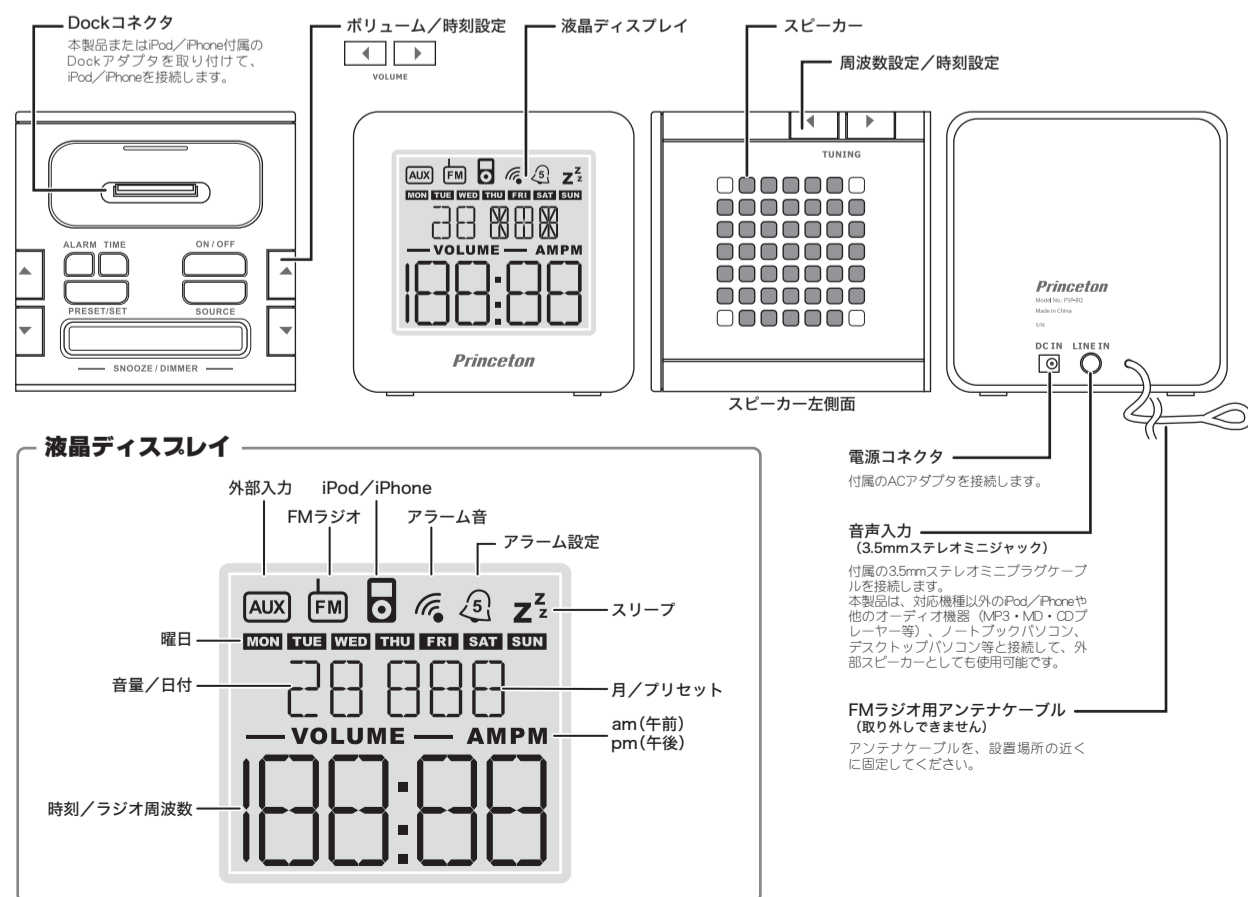
小さいお子様の手の届くところに、本製品を放置しないでください。

- ⓪ 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。ただちに本体の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなったら販売店に修理を依頼してください。
- ⊘ 同梱品以外の AC アダプタは使用しないでください。火災の原因となります。必ず本製品同梱の AC アダプタを使用してください。また、ご使用の際は AC100V のコンセントに接続してください。指定以外の電源で使用した場合、火災の原因となります。
- ⓪ 内部に水などの液体が入った場合、異物が入った場合は、まず最初に本体の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。
- ⊘ 本製品は防水構造ではありません。水に入れたり、濡らしたりしないでください。浴室等、湿気の多い場所では使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- ⊘ 雷鳴が聞こえたら、ACアダプタやアンテナ線には触れないでください。感電の原因となります。
- ⓪ 本製品を落とす、ものをぶつけるなどの衝撃が加わった場合やキャビネットを破損した場合は、本体の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。
- ⊘ 本製品の上に、花瓶、コップ、植木鉢、化粧品や薬品などの入った容器、アクセサリーなどの小さな金属物等を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。
- ⊘ 本製品を分解や改造や修理をしないでください。火災、感電、破損の原因となります。
- ⊘ スピーカー内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱を起こし、火災の原因となります。
- ⊘ 本製品を熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。火災の原因となります。
- ⓪ 本製品を設置する場合、壁から 10cm 以上離して設置してください。また、効率的に放熱するために、他の機器とは離して設置してください。ラックなどに設置する場合は、本製品の天面から 2cm 以上、背面から 5cm 以上の隙間をあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。
- ⓪ 電源ケーブルが損傷(芯線の露出、硬化してひび割れている、断線など)した場合は、直ちに使用を止めてください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。
- ⊘ 電源ケーブルの上に重いものや本製品を載せる、電源ケーブルを傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張るなどはしないでください。コードが破損して火災、感電の原因となります。
- ⊘ オーディオケーブルを人が通るところなどひっきりやすういところに這わせしないでください。躓いて転倒したり、スピーカーが落下し、怪我や事故の原因となります。

注意

- ⊘ 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばなど温度が高いところ、水がかかる恐れのあるところ、湿気やほこりの多い場所に本製品を設置しないでください。故障や感電、火災の原因となります。
- ⊘ ぐらついた台の上や、傾いたところなど不安定な場所におかないでください。また、設置場所の強度は、重みに耐えられるものにして下さい。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- ⓪ 高いところに設置する場合は、不意な衝撃があっても落下しないよう固定してください。固定しないまま使用すると、落下し、怪我や事故の原因となります。また、高いところへの設置作業は、足元が不安定になりますので、十分注意してください。
- ⓪ 電源を入れる前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になることがあります。
- ⓪ 万が一の事故防止のため、この機器を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントから AC アダプタを抜けるようにしてください。
- ⓪ 長期間本製品を使用しない場合は、安全のために必ずコンセントから AC アダプタを抜いてください。
- ⓪ お手入れの際は、安全のため AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- ⊘ 濡れた手で AC アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
- ⓪ AC アダプタを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らず必ず AC アダプタをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。
- ⊘ 定格をこえる入力を入れた状態や、長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。
- ⓪ お子様がおもちゃに手を触れないようご注意ください。怪我の原因になることがあります。

各部の名称と主な機能



スピーカーについて

防磁について
本製品は防磁対応製品ですが、ディスプレイの近くで長時間使用した場合、帯磁によって画面に異常が発生することがあります。自動消磁機能付きのディスプレイもありますが、そうでないものは手動で消磁する必要があります。消磁の方法につきましてはディスプレイの取扱説明書をご確認ください。

ACアダプタの接続

背面の電源コネクタに DC IN の AC アダプタ (付属) を接続し、コンセントに接続してください。

注意
付属の AC アダプタ以外は使用しないでください。故障の原因となります。AC アダプタを抜くと、各種設定がリセットされます。

FMラジオ用アンテナケーブルの接続

FMラジオを聞く前に、アンテナケーブルを壁などに固定してください。

アンテナ端子 (スピーカー背面) を壁などに固定してください。

HINT
FMラジオを最良の状態を受信するには？
・アンテナケーブルを一杯伸ばしてください。
・アンテナの向きを変えてみてください。
※環境によってはすべての放送局が受信できない可能性があります。

iPod/iPhoneを充電する

本製品のDockコネクタを使用して、iPod/iPhoneを充電することができます。本体の電源がOFFでも、本製品にACアダプタが接続されている状態で、DockコネクタにiPod/iPhoneを接続すると充電を開始します。

注意
iPodおよびiPhoneを接続する際は、必ずDockアダプタを使用してください。Dockアダプタを使用しない接続部の故障の原因となります。詳しくは、裏面の「Dockアダプタについて」をお読みください。

① コンセントからACアダプタを取り外すと「時刻設定」「アラーム設定」「周波数プリセット」「音量」等の全ての設定が工場出荷時の設定に戻ります。

本体の操作について

1 1回押し→アラームモード
アラーム設定モードを表示します。

長押し→スリープタイマー
押すごとに、スリープタイマーの設定時間を切替えます。
設定値：OFF→15分→30分→45分→60分→OFFに戻る

1回押し→プリセット呼び出しモード
押すごとに、プリセットされている周波数を切替えます。

長押し→プリセット登録モード
プリセット登録画面を表示します。

ソースボタン
押すごとに、入力ソースを切替えます。
設定値：[外部入力]→(アラーム※)→[Pod/iPhone]→[ラジオ]
※アラーム設定時のみアラーム音を選択できます。

電源ボタン
本体の電源をオン/オフします。
Pod/iPhoneを接続している時は、音楽を再生/停止します。

ボリューム
(音量：小) (音量：大)
ポリューム
◀ : 音量を小さくします。
▶ : 音量を大きくします。

時刻設定
アラーム設定時 1回押し：時間(分)を1つ戻し(進め)ます。
時計設定時 長押し：時間(分)を早く戻し(進め)ます。

スヌーズ (アラーム起動時のみ)
アラームの音声を一時的にストップして、5分後に再度アラームが起動します。
※アラームが鳴った状態で放置すると、約60分後に自動的に止まります。

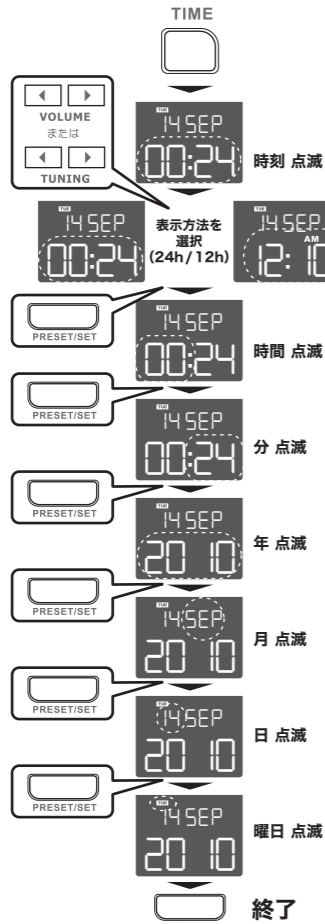
バックライト (DIMMER) ※完全に消灯はしません。
押すごとに、本体の液晶ディスプレイの明るさ(3段階)を切替えます。
アラーム動作中は、スヌーズ動作するため、明るさを変更することはできません。

周波数設定
1回押し：周波数を上げ(下げ)します。
長押し：オートスキャン機能
現在の周波数から、一番近い受信チャンネルを自動的に選局します。

時刻設定
アラーム設定時 1回押し：時間(分)を1つ戻し(進め)ます。
時計設定時 長押し：時間(分)を早く戻し(進め)ます。

時刻の設定

- LCDの時計表示が点滅するまで [TIME] を押します。
- 点滅した状態で [ボリューム] または [周波数設定] を押し、24時間表示または12時間表示を切り替えることができます。表示方法を選択したら、[PRESET/SET] を1回押し、「時間」が点滅します。
- 「時間」が点滅している状態で、[ボリューム] または [周波数設定] を押し、「時間」を変更することができます。
- 「時間」を設定後、[PRESET/SET] を1回押し、「分」が点滅します。時間設定と同様の操作で「分」を設定します。以降、「分」設定した後 [PRESET/SET] を押し「月」(英語表記)→「日」→「曜日」の順に設定することができます。



注意
時刻設定後にACアダプタを抜くと、時刻がリセットされます。ご注意ください。

iPod/iPhoneを接続する

① iPodおよびiPhoneを接続する際は、必ずDockアダプタを使用してください。Dockアダプタを使用しないと接続部が故障しやすくなります。

接続するiPod/iPhoneに対応したDockアダプタを取り付けます。取り付けの際は、Dockアダプタのツメの向きに注意しながら取り付けます。

■アダプタの交換方法
Dockアダプタの接続部を指の爪などで引っ掛けて取り外します。

HINT
iPod/iPhoneを接続すると、自動的にiPod/iPhoneの電源がONになり充電が開始されます。

注意
スピーカーにiPod/iPhoneを接続したまま、持ち運んだりむやみに動かさないでください。iPod/iPhoneの欠落や本体コネクタ部分が故障する場合がございます。iPod/iPhoneを操作する場合は、必ずiPod/iPhoneの上部を手で押さえた状態で操作してください。上部を押さえずに操作すると、iPod/iPhoneの欠落や本体コネクタ部分が故障する場合がございます。

Dockアダプタについて

iPod/iPhoneを使用する際は、iPod/iPhoneに対応したDockアダプタを取り付けて使用してください。

アダプタ裏面に「対応するiPod/iPhoneの種類」とアダプタの「番号」が刻印されています。

iPod/iPhone付属のDockアダプタも使用可能です。

アダプタ番号/iPod/iPhone対応機種

⑨ iPod 5th generation(video) 30GB	⑮ iPhone 3G 8GB, 16GB
iPod classic 80GB 120GB	iPhone 3GS 16GB, 32GB
iPod classic 160GB(2009)	
⑩ iPod 5th generation(video) 60GB, 80GB	⑰ iPod nano 4th generation 8GB, 16GB
iPod classic 160GB(2007)	
⑬ iPod nano 3rd generation(video) 4GB, 8GB	⑱ iPod nano 5th generation 8GB, 16GB
⑭ iPod touch 1st generation	

「U1」アダプタ Universal用のLightningアダプタは Dockコネクタを装備しないiPod/iPhoneや、その他のオーディオ機器を接続の際にご利用ください。コネクタ部をホコリなどから保護することができます。

iPod/iPhoneの音楽を聴く

- 電源をONにします。
現在選択されているソースのアイコンが表示されます。
- ソースを [iPod/iPhone] に切替えます。
液晶ディスプレイにiPod/iPhoneのアイコンが表示されるまで [SOURCE] を数回押しします。
- 再度電源ボタンを押すと、再生を開始します。
停止する場合は、再度電源ボタンを押します。

iPod/iPhoneの音楽を聴く時のご注意

iPod/iPhoneを使用する場合、iPod/iPhoneの音量設定は無効になり、本製品の音量設定で再生されます。
コンセントからACアダプタを抜くと、音量設定がリセットされて次回使用するときには、出荷時の音量で再生されます。

Dockコネクタを装備していないiPod/iPhoneや他の再生機器を接続する場合

- 電源をONにします。
付属の3.5mmステレオミニプラグケーブルを使用して、対応機種以外のiPod/iPhoneや他のオーディオ機器(MP3・MD・CDプレーヤー等)、ノートブックパソコン、デスクトップパソコン等と接続して、外部スピーカーとしても使用可能です。
注意
iPod/iPhoneを3.5mmステレオミニプラグケーブルで接続した場合、iPod/iPhoneは充電されません。
- ソースを [AUX] に切替えます。
液晶ディスプレイにAUXのアイコンが表示されるまで [SOURCE] を押しします。

ラジオを聴く

- 電源をONにします。
- ソースを [ラジオ] に切替えます。
液晶ディスプレイにラジオのアイコンが表示されるまで [SOURCE] ボタンを数回押しします。
- 周波数を調整します。
[周波数設定] を長押しすると、自動的に受信可能なチャンネルを選局します。(オートスキャン機能)
[周波数設定] を1回押しと、周波数を変更することができます。
注意
環境によってはすべての放送局が受信できない可能性があります。

周波数の登録 (プリセット)

- 登録する周波数に合わせます。
- [PRESET/SET] を「プリセット番号」が点滅するまで押しします。
- [周波数設定] を押し登録するプリセット番号を選びます。
- 再度 [PRESET/SET] を1回押し登録を完了します。

HINT 最大、6局をプリセット可能です。

注意
コンセントからACアダプタを抜くと、プリセットしたチャンネルが消去されて次回使用するときは、出荷時の周波数になります。

プリセットしたチャンネルを聴く

- ソースを [ラジオ] に切替えます。
 - [PRESET/SET] を押しします。
選局したいプリセット番号が表示されるまで、[PRESET/SET] を数回押しします。
- 既にプリセットされているチャンネルを変更する場合
- [新たに登録したいチャンネルを選局]
↓
[PRESET/SET ボタンをプリセット番号が点滅するまで押し]
↓
[周波数設定ボタンで変更するプリセット番号を選ぶ]
↓
[再度 PRESET/SET ボタンを押し]

アラームを設定する

- [ALARM] を1回押し、「アラーム」「ソース」「音量」表示が点滅します。
アラーム設定では、最初に「アラーム方法」「ソース」「音量」を設定します。
- 再度 [ALARM] を押しアラーム方法を設定します。
ALARM
ON(毎日) ON(平日) OFF
アラーム表示
毎日設定時刻に鳴ります。 月～金のみ設定時刻に鳴ります。 アラームオフ。
注意
AUXはアラームに使用できません。
- [SOURCE] を押し、設定時間に鳴らす音(ソース)を選択します。
FM
プザーアラーム
アラーム設定時のみ選択できます。「ピピピッ」と鳴るアラーム音で、段階的に大きくなります。
ラジオは、最後に聞いていたラジオ局を再生します。
DockにiPod/iPhoneが接続されていない場合は、自動的に「プザーアラーム」に切り替わります。
- [ボリューム] を押し、設定時間に鳴らす音量を調節します。
アラーム動作中は、本体の音量調整はできなくなります。
- [PRESET/SET] を1回押しと「時刻」が点滅します。[ボリューム] または [周波数設定] を押しと、時刻を変更することができます。更に [PRESET/SET] を1回押しと「分」が点滅します。同様の操作で「分」も設定します。
- 時刻を設定した後、[PRESET/SET] を1回押しとアラーム設定が完了です。
- 液晶ディスプレイにアラームアイコンが表示され、アラームが設定されます。
アラーム動作中は、アラームアイコンが点滅します。



- 時刻を設定した後、[PRESET/SET] を1回押しとアラーム設定が完了です。
- 液晶ディスプレイにアラームアイコンが表示され、アラームが設定されます。
アラーム動作中は、アラームアイコンが点滅します。

アラーム時間を解除する場合
アラーム設定で、アラームマークが表示されていない状態に設定します。

アラームが鳴ったら
アラームが鳴った状態で放置すると、約60分後に自動的に止まります。
ON/OFF ボタンを押すと、アラーム (iPod/iPhoneの場合、再生中の音楽や動画) が止まります。
SNOOZE ボタンを押すと一度アラームが止まり5分後に再び鳴ります。最後にアラームが鳴った後、約60分後にアラームが止まります。停止する場合は、[ON/OFF] ボタンを押してください。
※iPod/iPhoneの場合、再生中の音楽や動画は再生され続けます。

スリープタイマーを設定する

- [ALARM] を長押しすると、スリープタイマー設定画面が表示されます。[ボリューム] または [周波数設定] を押しと、設定時間を切替えます。
設定値：OFF→15分→30分→45分→60分→OFFに戻る
- 再度 [ALARM] を長押しすると、スリープに入るまでの残り時間が表示され、自動的に現在時刻表示に戻ります。

最新情報の入手方法

プリンストンテクノロジーでは、インターネットのホームページにて最新の製品情報や対応情報を紹介しております。

URL <http://www.princeton.co.jp/>

プリンストンテクノロジー株式会社

本製品の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
本書の内容は予告なく変更されることがあります。
本書の著作権はプリンストンテクノロジーにあります。
本書の一部または全部を無断で複製、転載、転送することを断じます。
本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、および登録商標です。
本書ではTM ® 表記しておりません。
本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。
Copyright ©2010 Princeton Technology, Ltd. 2010年5月第1版

iPod/iPhoneをDockに接続した状態でソースをPod以外に切り替えると、Pod/iPhoneは充電状態になります。

曲選択等の操作は、Pod/iPhoneで直接行う必要があります。

操作を行う際、Dockコネクタに無理な力がかららないようPod/iPhoneの上部を手で押さえた状態で操作してください。

iPhoneの着信について
サイレントスイッチがサイレントモードの場合、着信音はスピーカーから鳴りません。